

令和8年度 教学マネジメントに関するFD・SD 研修

研修名

「科目ナンバリング見直しの論点整理と実践」

主催

教学入試戦略推進本部

日時

令和8年7月17日（金）14時30分～16時30分

会場

和歌山大学栄谷キャンパス（対面開催）

参加者

参加者：30名（うち教員24名、職員6名）

参加率：100%※

※各学部・学環等のカリキュラム関係教職員を中心に5名程度で参加依頼を行ったため

研修の概要

近畿大学 IR・教育支援センターの竹中喜一准教授に来学いただき、令和7年度の研修に引き続き、各学部・学環等の大学教務委員会委員、教学マネジメント委員会委員、カリキュラム関係教職員を対象に、「科目ナンバリング見直しの論点整理と実践」をテーマとした研修を対面で行いました。

本研修は、竹中先生から学修者本位の教育の重要性などについて、解説をいただいた後、参加者がワークショップを行う構成で実施しました。具体的には、各授業科目をディプロマ・ポリシー（学位授与方針）と関連付け、その貢献度を数値化して管理する科目ナンバリングを取り上げて、各科目に紐づけられたディプロマ・ポリシーの重みづけに偏りがなくどうかの点検をとおして、カリキュラムの体系性について、確認を行いました。

竹中先生の講義を受けて、各学部・学環の出席者で科目ナンバリングの見直しについてグループワークを行い、各学部・学環で議論を行った内容について共有を行いました。最後に、竹中先生から講評をいただき、こうした科目ナンバリングやカリキュラムの見直しの取り組みは、高等教育機関としての継続的な教育改善に加え、ステークホルダーへの説明責任や外部評価への対応に直結することが説明されました。

和歌山大学では今後も継続して教学マネジメントに関するFD・SD活動に取り組んでいく予定です。

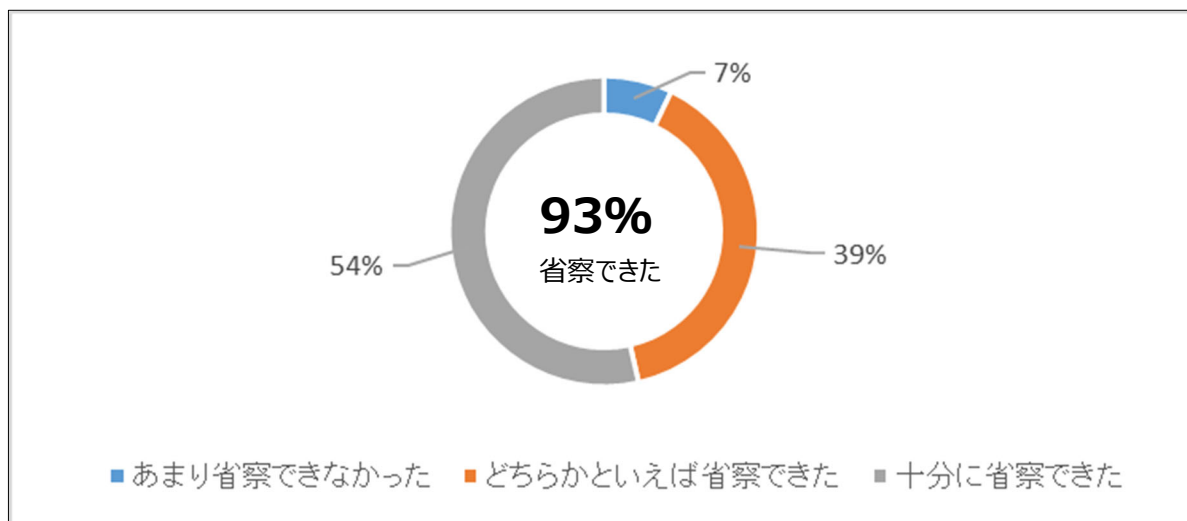
研修の様子



開催後アンケート結果

回答率 93%（教員 24 名、職員 4 名）

（１） 研修を通して、自学部（学環）の科目ナンバリングの課題を省察できましたか。



（２） 今回の研修を通して、自学部（学環）の科目ナンバリングの改善に向けて見通しが持てましたか。

